

鹿屋市奨学資金条例施行規則の一部を改正する規則

鹿屋市奨学資金条例施行規則（平成18年鹿屋市規則第206号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

（改正条例附則第5項の書面）

- 7 鹿屋市奨学資金条例の一部を改正する条例（令和4年鹿屋市条例第29号）附則第5項の規定による書面は、奨学資金返還期間変更申出書（別記第16号様式）とする。

別記第1号様式を次のように改める。

家族の生活状況及び奨学資金を必要とする理由			
備考	<input type="checkbox"/> 生活保護を受けている	<input type="checkbox"/> 就学援助を受けている	
	<input type="checkbox"/> 授業料が免除されている		
考	<input type="checkbox"/> 本人が現在奨学生である (奨学資金制度名 貸与月額 円)		
	<input type="checkbox"/> 兄弟姉妹が現在奨学生である (奨学生氏名 奨学資金制度名)		
本人履歴	年 月 立	小学校 卒業	
	年 月 立	中学校 卒業・卒業見込	
	年 月 立	入学	
	年 月 立	卒業・卒業見込	

		年 月 日	
鹿屋市長		様	
<p>貴市奨学資金の貸与を受けたく保証人連署の上申請いたします。なお、貴市が奨学資金の選考資料、奨学資金の返還業務等のために必要がある場合は、住所、所在、住居、勤務先、資産、収入等について、官公庁、金融機関等の関係する団体、法人等又は関係する個人に対し調査等を行い、当該調査等の依頼を受けた者が当該調査等に回答することに同意します。</p> <p>また、採用の上は奨学生としての本分を尽くすことはもちろん、奨学資金の返還その他の義務についても規程に従い誠実に履行し、署名連帯の責任を負いますことを誓約いたします。</p>			
本	人	氏名	印
第一	連帯保証人	氏名	印
第二	連帯保証人	氏名	印

注1 署名は必ず各自で行い、それぞれ異なる印鑑を押印すること。

- 2 第一連帯保証人及び第二連帯保証人は、ともに返還保証能力があり、その履行を誓約する成年者とし、自己破産者（免責になった者も含む。）は不可とする。なお、第一連帯保証人は、原則として保護者又は親権者とする。保護者又は親権者がいない場合は、兄弟又はこれに代わる者とし、第二連帯保証人は、第一連帯保証人と別生計の者とする。

御記入いただいた情報は、奨学資金以外の目的には利用しません。

別記第2号様式中

	性別	生 年 月 日
		年 月 日

を

	生 年 月 日
	年 月 日

に改める。

別記第10号様式を次のように改める。

第10号様式（第8条関係）

奨学資金借用証書

借用金額 _____円

私は貴市奨学生として、上記金額を借用しました。

については、貴市奨学資金の規程に従い、私ども連帯して奨学資金返還計画書のとおりに、相違なく返還することを誓約いたします。

なお、貴市が奨学資金の返還業務等のために必要がある場合は、住所、所在、住居、勤務先、資産、収入等について、官公庁、金融機関等の関係する団体、法人等又は関係する個人に対し調査等を行い、当該調査等の依頼を受けた者が当該調査等に回答することに同意します。

また、奨学資金返還計画書に基づく各返還期日までに返還しなかった場合、当然に期限の利益を失い、返還期日にかかわらず既に貸与を受けた奨学資金に対する残金一括返還の請求を受けることについて異存ありません。

年 月 日

鹿屋市長 様

奨学生 本人	決定番号	第 号	学校名	学校		
	現住所					印
	氏名		電話番号			
第一連帯 保証人	現住所					印
	氏名		電話番号			
	勤務先			続柄		
第二連帯 保証人	現住所					印
	氏名		電話番号			
	勤務先			続柄		

注1 署名は必ず各自で行い、それぞれ異なる印鑑を押印すること。

2 第一連帯保証人及び第二連帯保証人は、ともに返還保証能力があり、その履行を誓約する成年者とし、自己破産者（免責になった者も含む。）は不可とする。なお、第一連帯保証人は、原則として保護者又は親権者とする。保護者又は親権者がいない場合は、兄弟又はこれに代わる者とし、第二連帯保証人は、第一連帯保証人と別生計の者とする。

御記入いただいた情報は、奨学資金以外の目的には利用しません。

奨学資金返還計画書

決定番号	フリガナ		生年月日	
第号	氏名		年 月 日	
就職先 (進学先)	名称			
	所在地	電話番号		
貸与総額	円	貸与期間	年 月から	年 月まで
返還総額	円	返還期間	年 月から	年 月まで
返還年額	年度	円	年度	円
	年度	円	年度	円
	年度	円	年度	円
	年度	円	年度	円
	年度	円	年度	円
返還方法	割賦方法 (いずれかに○)	返還月	返還回数	割 賦 金
	1 月 賦	毎 月	回	円
	2 半 年 賦	月・ 月	回	円
	3 年 賦	月	回	円

注 返還方法は、希望する割賦方法の数字を○で囲んでください。また、半年賦・年賦を選んだ人は、希望する返還月を記入してください。

別記第15号様式の次に次の1様式を加える。

奨学資金返還期間変更申出書

年 月 日

鹿屋市長 様

決定番号 第 号

本人 氏名

連帯保証人 氏名

下記のとおり、奨学資金返還期間の変更を申し出ます。

記

1 返還年数

変更前 年

変更後 年

2 返還期間

変更前 年 月から 年 月まで

変更後 年 月から 年 月まで

附 則

- 1 この規則は、令和5年3月15日から施行する。
- 2 この規則の施行の際、現に存する様式は、当分の間、必要な修正をしてこれを使用することができる。